

⑥には、高校の卒の学力を有する者と書いてあるわけですね。これまで大卒の幹部をとってきた場合は、大卒で募集しております。いわば、高卒を募集するというので採用するというので募集をしながら、大卒をとっている。

そして、その理由づけとして、幹部になる者、社会経験を有する者、そういう理由づけを後から指示欄に自筆で書かれている。これはあなたが書かれたものですかといったら、はい私が書きましたとはっきり言われました。議事録に載っております。

さらに、体力、報告があったと思いますけれども、57点というすばらしい成績を取った者を落として、39点の者を繰り上げている。なぜこんなことをするんですか。あんまり変わらへん。これも議事録に載っております。それだったら、何のために試験をするのか。これらのことがいま問題になってきて、地公法や条例、規則に違反をしているということで指摘をされたわけでありまして、100条委員会としては十分な資料を提出をさせて調査をされたというふうに思っております。

その結果、いま言った違反が明らかになった。そのような結果のもとに、さきほどは市長提案の新年度予算が圧倒的多数で否決をされました。私のみならず、多くの議員が共通して市長の不正関与を斬罪している証であります。

中川市長、あなたの行ってきた行政を振り返ってみると、改革を旗印に何でも変えればよいというパフォーマンス行政ではなかったでしょうか。多くの先人たちが残されたよい面は受け継ぎ、改革すべき点は大いに改革することが真の行政改革であると私は考えます。歴代市長や歴代議員の過去の行政について、本議会において批判を繰り返されました。名誉を著しく傷つけたことは決して許されるべきではありません。市政の重要課題である安全・安心のまちづくりについても、加西市に住みたい、住んでよかったと言われるまちづくりを推進しなければならないことは言うまでもありませんが、そのためには市民の皆さんに何よりも安心感を持って住んでいただくことが重要であります。市長はこれまで、さまざまな会合の場で、加西市の財政状況が夕張市に近いような発言を繰り返されてきました。事実は兵庫県29市12町の中で、中ほどであります。

市民からは、加西市に家を買って損をした。加西市に住みたくない、不信、不満の声が上がっているのです。多くの市民に不安をいだかせ、不満を持たせることは活力あるまちづくり、そして加西市の発展を疎外しており、その責任は極めて重大であります。さらに、現在消防署をはじめとして広域行政を積極的に推進しなければならない状況下において、近隣市町と親しく緊密に交流を図ることが重要であることは言うまでもありません。

市長、あなたの近隣市長との関係についても、決してよ

⑦い状況と言えないことが多々あります。特に、小野市長とは北条鉄道問題で関係が悪化し、小野市の北条鉄道基金1,300万円が取り崩された結果、支払われなくなったことは、北条鉄道、そして加西市にとって極めて甚大な損失であります。これらのつけは、市民に回されるのは必至であります。加えて、近隣市町との関係悪化は、広域行政の推進に大きなマイナスとなり、加西市の将来に多大な損失を招くことは明白であります。

執行者と議会は車の両輪と言われております。お互いの立場、権能を尊重して行政執行に取り組むべきことは言うまでもありません。本会議における市長公約の一般質問で、レベル低い、答弁しないなどといって、中川市長の議員や議会軽視の発言、そして行動は目に余るものがあり、議員として、議会として断じて許すことはできません。

以上の理由により、市長みずからその職を辞すことを求めて、不信任案を提案するものです。

【不信任動議に対する賛成意見】

- ・採用問題に関して、予算委員会では偏差値の範囲内、問題が起こってきたときには法律上の権限と言われており信頼できない。
- ・民主主義のルールと手続きに基づいて、公平公正な対応ができていない
- ・就任当初から選挙での公約を努力目標とすりかえ、改革、民間の感覚、事業の前倒し等を市民にアピールをしながら、行政改革においても公募の名のもとに外部から人材を登用し、財政面、事業面においても市内業者の育成を怠り、弊害が出てきている

【不信任動議に対する反対意見】

- ・100条委員会を設けたのは真相究明よりも、市長を不信任とするための形式的な手続き
- ・改革して市を変えていこうとする市長を信じている

※長の不信任の議決

地方自治法第178条の規定により、議員数の3分の2以上が出席する本会議において4分の3以上の賛成により成立する。

不信任決議を受けた首長は、10日以内に議会を解散することができる。解散しなければ10日が経過した時点で失職する。議会を解散した場合は選挙後に開かれた議会において再び不信任決議案が提出された場合は出席議員の過半数の賛成で成立し、首長は直ちに失職する。

【議会の解散】

市長に対する不信任動議が可決されたことに対して、4月5日付けで市長より議会の解散についての通知が議長宛に届き、当日付で加西市議会は解散となりました。

⑦へ

調査の中で、偏差値による集計の順位の変更に外に市長が採用者の大幅な変更を指示したことがあきらかとなったことから、委員からは、このような行為を行った市長から提案された一般会計予算を認めるわけにはいかないとの強い意見が出されました。これに対し、予算と職員採用問題に関しては別に取り扱べきとの意見も出されましたが、1対17の賛成少数により、否決すべきものと決定されました。

もっとうりだい！

平成19年度
一般会計予算否決

平成19年度加西市一般会計予算については予算の審議を行う中で、市長より、平成18年度職員採用に関して、偏差値による集計結果の変更を行い順位に変更が生じたとの発言があり、調査特別委員会が設置され、